

# 今、輝いている あなたにクリック

Click on you shining now



第二はなこま保育園  
海野 有香 保育士



しまの杜保育園  
永田 怜 ブロックリーダー



嬉野保育園  
大石 汐里 保育士

**編集** 今回は、第二はなこま保育園 海野有香 保育士・しまの杜保育園 永田怜ブロックリーダー・嬉野保育園 大石汐里保育士の3人です。よろしくお願いします。  
まずは洗心福祉会に入社してどれくらい勤務をされていますか？

**海野** 15年目になります。

**永田** 9年目になります。

**大石** 9年目になります。

**編集** 日々の業務の中で大切にしていることはありますか？

**海野** 子どもたち一人ひとりに寄り添い笑顔で関わるのはもちろんですが、職員間や保護者の方とのコミュニケーションも大切にしています。

**永田** 仕事上、人と関わるのでその人の目を見て話すことを大切にしています。あとは元気に明るく過ごすことです。

**大石** 子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう丁寧な保育と保護者の方にも安心してお子様を預けてもらえるよう日々の関わりを大切にしています。

**編集** 仕事をしていて一番嬉しかったことはありますか？

**海野** 子どもたちの成長を目にしたり、保護者の方からあたたかい言葉を頂いたり嬉しさを感じる場面がたくさんあり、一番を選ぶことは難しいです。

**永田** 子どもたちと過ごす中で「楽しかった・ありがとう」の言葉を自然と言ってくれた時と保護者の方からの「ありがとう・先生に出会えて良かった」と言われたことが嬉しかったです。

**大石** 日々の保育の中で子どもたちの成長を感じることができた時と、一年の終わりに「先生が担任で良かったです」と感謝の言葉を頂いたときはとても嬉しかったです。

**編集** 休日の過ごし方や、趣味を教えてください。

**海野** 休日は子どもと思いきり遊んで過ごしています。足形アートを作ることが好きで季節に合わせて飾って楽しんでいます。

**永田** コロナ禍で難しいですが対策をしながらショッピングを楽しんだり、友だちと遊んだりしています。

**大石** 休日は家族で公園や買い物に行ってお出かけしています。

**編集** 今後の目標を教えてください。

**海野** 自分自身が子育てをする中で経験したことや感じたことを活かしながらより一層、子どもたちや保護者の方に寄り添った関わりが出来るように頑張っていきたいと思っています。

**永田** 保育士として子どもたちに様々なことを教えたり、ブロックリーダーとして現場の先生たちの相談にのったり時には教えたりする中で、自分自身が見本となり手本となれるような「頼って良かった」と思ってもらえる人になりたいです。

**大石** 保護者の方、上司、同僚から信頼される保育士になっていきたいです。

**編集** 本日はたくさんのお話を聞かせていただきありがとうございました。

# 洗心

## 『調和』と『繋がり』

- p2. 『調和』と『繋がり』
- p3. モルテン車椅子 Wheeliy 導入
- p4. イオンモール津南のイベントに参加しました
- p5. 元気もりもり！笑顔いっぱい運動会！
- p6. 頂きへ、そしてその先へ
- p7. ZOOM 同時中継
- p8. 今、輝いているあなたにクリック

## 法人理念

- 1 当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- 2 当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- 3 当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

## 社会福祉法人 洗心福祉会からの お知らせ

社会福祉法人洗心福祉会の令和4年理事会が12月6日（火）に洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にて開催されました。理事会では理事5名と監事2名が出席され、社会福祉法人洗心福祉会安全運転管理規程及び車両運転服務規程の制定のほか、運営規程の一部を改正する規程等の議案案件について厳正に審査され、原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示板に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務課にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申出下さい。



# 『調和』と『繋がり』

社会福祉法人洗心福祉会  
理事長 山田 純大

新年あけましておめでとうございます。  
平素より皆様には社会福祉法人洗心福祉会の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、皆様方にとって良い年が迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、旧年においては、まだまだ続く新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、世界に目を向ければ戦争が勃発し、その影響等による物価の高騰など社会情勢が大きく変化した年でありました。私たちの福祉業界においても例外ではありませんが、一方で新たな働き方や意識が芽生えたのも大きな変化と言えます。

ICTの促進により、リモートワークやシステムを活用したWEB会議など、業務に取り組む考え方そのものが見直されることにもなりました。当法人につきましても、より働きやすい職場環境の構築と魅力ある福祉を目指し、積極的なICT化の促進に取り組んでいるところです。また、

昨今の福祉業界では、保育や介護で活躍する従事者のさらなる処遇の充足を目的とした新たな処遇改善の仕組みが設けられることになりました。

ICTの導入や処遇の向上など、多くの方々が福祉分野に興味を深めていただけるよう、私たちがやりがいと魅力ある業界として目指すことが、社会福祉法人の役割や責務のひとつであると感じています。

もちろんそれだけではありません。いかに魅力あるものにしていくか、一人ひとりが責任と誇りをもって、常に個々の自己研鑽に励むことも重要なことと捉えています。

「あるべき姿」を考え、その姿を目指すこと。自分たちが求める理想を明確に描くことで、仕事に対するモチベーションを高めるとともに、個々の成長に繋がっていくものと確信しています。

令和5年度の法人の事業方針では、

『調和』と『繋がり』をテーマに位置づけました。人と人との繋がりはもちろんのこと、事業間や地域、各関係機関等との様々な結び付きが、今まさに求められていると自負しています。それは単に福祉だけに留まらず、福祉と交わることで生まれる新たなカタチも見据えたものです。

『調和』や『繋がり』は一見優しい言葉ですが、その実践や実現には、とても力強さがあるものと感じています。自ら結びつける力、相手を柔軟に受け入れる力、互いの力が強く紐づいたとき、真のカタチを見出すことができるのではないのでしょうか。法人の経営方針のひとつに掲げる「現状に甘んじず、常に個人と組織の創造的向上を目指す」の実現に向け、法人内に留まらず様々な結びつきを大切に、着実なカタチとなるよう考動力をもって実践していきたいと考えます。

津介護老人保健施設

## モルテン車椅子 Wheeli y 導入

探していた車椅子がついに見つかりました。その名も「ウィーリィ」

これまでの車椅子は購入後、パンク修理や座布団の購入に加え背もたれにもクッションが必要な方には個別に用意をしたり、使用後は洗って乾かす必要があり職員の業務負担やメンテナンス費用が掛かっていました。

数年前より車椅子のメンテナンスを定期的にしてもらえるかどうかを各車椅子メーカーに問い合わせしておりましたが、答えは全て「NO」でした。

自動車や自転車は定期点検してもらえるのに車椅子はしてもらえないの？

そんな事を考えながら日々業務にあたっていた頃に、モルテンのウィーリーに会いました。ノーパンクタイヤでメンテナンスフリー。故障すれば無料交換してもらえ、さらには無圧クッションとカバー、トランスファーボードも付属しているという優れもの。

このことでメンテナンスに掛かる時間や費用は軽減され、さらにはトランスファーボードを使用する事で持ち上げない介護の実践が可能になり介護職員の職業病でもある腰痛予防にもつながるものになります。

まずは地域総合ケアセンターシルバーケア豊寿園（高茶屋）での導入ですが、今後は他の事業所にも展開していきます。





reporter: はなこま保育園

## イオンモール津南のイベントに参加しました

10月20日(木)、イオンモール津南より招待を受けて、第二はなこま保育園と合同で5歳児きりん組の子どもたちが、イオンモール津南4周年記念イベントに参加しました。

保育士手づくりの黒い法被にキラキラのハチマキを付けて「はっ!」「どっこいしょ!」と元気いっぱいに「キッズソーラン」を踊ってきました。まだまだコロナ禍の中で、感染対策を行いながらの参加でしたが、たくさんの保護者の方々にも見に来ていただき、子どもたちにとっても思い出に残るイベントになりました。



reporter: 嬉野保育園

## 元気もりもり！ 笑顔いっぱい運動会！

秋晴れの真っ青な青空の下、嬉野保育園の運動会が2日間に渡って開催されました!両日とも、天候に恵まれ、元気いっぱいの姿を見せてくれた子どもたちです。

2歳児の子どもたちは、初めての運動会!ちょっぴりドキドキしながらも他の学年の子どもたちに応援してもらって嬉しそうでしたよ。3～5歳児の子どもたちは、お家の方に応援してもらいながら最後まで頑張ることが出来ました。5歳児の子どもたちは、保育園生活最後の運動会、力を合わせてたくましい姿を見せてくれました。さすがちょうちょ組さん!子どもたちの心の中に、またひとつ素敵な思い出ができましたね。





## 頂きへ、そしてその先へ

11月12日と19日に接遇委員会主催による管理職研修が開催されました。

例年外部から講師を招き、座学での研修を中心に開催しておりましたが、今年度は趣向を変え、ハイキングを研修に組み込みました。舞台に選んだのは、伊勢市にある標高555mの朝熊山で、片道約8.8kmの宇治岳道コースになります。  
あさまやま  
 保育、高齢、障がい、医療の各事業から計35名の管理職、男女30代から60代までと幅広い世代が、2日に分かれて参加しました。

今年度の管理職研修のテーマとしては「管理職同士の横の繋がりを強固なものにし、来年度に繋げる」を目的に実施しました。日頃から体を動かす習慣がある方、ない方、さまざまな方がいる中で、全員が一つの目標（頂上）に向かって歩みを進めることで、座学の研修とは異なる学びや、気づきがあったのではないのでしょうか。

この気づきを、各事業所の職員と共有し、現場の事業運営に活かしていきたいと思います。



11月12日 集合写真



11月19日 集合写真

## ZOOM 同時中継

12月13日に、当法人恒例の「年末懇親会」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続き対面ではなく、Web システム ZOOM を活用した各拠点同時中継となりました。例年であれば各地区で会食をしながら、一年を振り返り談笑するといった懇親会ですが、今回も内容や時間を縮小し、感染対策を徹底した上で実施しました。当法人が運営するサービスの中には24時間365日稼働している事業所もある中、それでも750名ものスタッフが画面を通し参加することができました。

はじめに山田理事長の挨拶とともに、日頃業務運営に携わるスタッフに向け感謝の言葉をいただきました。

続いて永年勤続表彰では81名のスタッフの皆さんが表彰され、代表して勤続20年の黒田昌利 施設長（鈴鹿シルバーケア豊壽園）、勤続15年の川口敦央 施設長（伊賀総合ケアセンターシルバーケア豊壽園）の二人がユーモアを交えながら、その喜びの声と、スタッフや家族に向けて感謝の気持ちを伝えました。

そして恒例の“大抽選会”では参加者全員がワクワク、ドキドキの想いの中で、本部会場に設置された抽選箱に視線が注がれました。20等から1等まで当選者が読み上げられるたびに、各事業所から拍手や歓声が沸き起こり熱気が伝わってきました。

今年も限られた時間ではありましたが、多くのスタッフ方と同時中継で繋がり、同じ時間を共有できたことに感謝いたします。来年こそは同じ会場に皆が集まり、同じ空気を楽しめる時が来ることを願っています。



山田 純大 理事長より挨拶



30拠点をZOOMで中継



永年勤続表彰授与式



永年勤続表彰代表者より挨拶



大抽選会 抽選



大抽選会 各会場の様子

